

森づくり活動報告書

場 所	森林インストラクターの森
日 時	2025年3月23日（日）
天 候	晴れ
参加者	池田、沖本、久保、田崎、藤井、星野、毛利、横山、芳野 ※読売新聞記者：佐伯氏
報告者	池田
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> キノコ駒打ち研修（原木に種菌を植え付ける原木栽培の実習） 種菌：シイタケ300個、ナメコ300個、ヒラタケ200個 計800個 原木（3種）：コナラ、ヒノキ、アカメガシワ インパクトで原木に穴を開け、種駒を差し込みハンマーで叩いて埋め込む。完成した楢木は林内に立てかける。 鳥の巣箱点検（芳野、横山、田崎）シジュウカラの巣跡あり（写真参照） 定点カメラ点検（田崎）
記 （今後の予定・感想等）	<ul style="list-style-type: none"> 4月の読売新聞に当会の紹介記事が掲載されます。 この日は読売新聞の佐伯記者が活動の取材に同行されました。 駒打ち作業は最初に沖本さんから手順等の説明があり作業開始。手慣れた人も多く、800個の種菌を予定通りの時間内で打ち込みました。それでも800個はなかなか大変です。また、2～3年前の楢木にはシイタケが鈴なり、未だ小さいですが来月あたりから収穫出来そうです。 鳥の巣の点検では、シジュウカラの巣跡を発見。一体何羽が巣立ってくれたのか興味が湧きます。 食後の勉強会：今回は「植物名の熟字訓」講師は星野さん。 普段馴染んでいる植物名も漢字表記だとなかなか難解なものもありますが、カナ表示とは違った趣もあり楽しかったです。 <p><今後の活動予定></p> <p>沖本部長から、来月以降は林内の回廊整備を進めるとともに、サプリガードの点検・修理を可能な限り行う方針とのことでした。</p>



種菌



完成した楢木



巣箱点検中



以前作った楢木から出てきたシイタケ



勉強会